



碧南市の住みごころは
ここ13年間で最高、
そして人口も回復しています

昨年8月に、市民の皆さんにご協力いただき、市政各般にわたり第50回市政アンケートを実施しました。その結果、“住みやすい・どちらかといえば住みやすい”の合計が84.7%で、昨年より2.5%増加し、ここ13年間では最も高い数値となりました。

年度	27年度	25年度	23年度	21年度	19年度	17年度	過去の数値は平成16年度
割合	82.2%	77.5%	82.1%	81.7%	81.4%	83.9%	82.7%
割合	2%	26%	80.24%	79.22%	81.20%	83.18%	82.7%
割合	0%	5%	80.5%	79.1%	81.2%	83.2%	82.7%

一方、「住みにくい・どちらかといえど住みにくい」の合計数値は平成16年度8.8%、17年度8.6%、18年度8.2%、19年度9.6%、20年度5.8%、21年度10.9%、22年度7.9%、23年度8.9%、24年度10.6%、25年度12.9%、

26年度8.3%、27年度9.0%、
28年度9.3%でした。

このアンケート結果は、毎年、住民基本台帳（20歳以上）から無作為に千500人の市民を選んで用紙を送付し、毎年千人ほどに回答していただいているものを集計しています。従って、年によつては、若干のばらつきはありますが、碧南市の住みやうさは引き続き、高い水準にあるといえます。

また、碧南市の国勢調査（５年ごと）に実施）上の人口で過去最大は、平成22年10月1日現在の7万2千18人でした。直近の国勢調査の平成27年10月1日現在の人口は7万1千346人であり、672人減ということで、市制施行以降初めて人口が減りました。

市では、人口減対策のため、昨年3月に「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して、現在その戦略に基づき、体系的、総合的な政策を実施しつつあるところです。景気の良い状態が続いていることもあり、平成27年の国勢調査以降については、市の人口は増え続けています。平成28年11月末現在の住民基本台帳の人口は、7万2千106人であり、過去最大であった平成22年の国勢調査時より88人増えています。

最近、市内で多くの新築住宅が建てられています。若い夫婦や子どもたちが増え、未来永劫、碧南市が発展するようみんなで盛りあげましよう。

国際理解を深めよう
海外派遣
中高生等募集

友好親善と若い世代の国際理解を深めることを目的とした姉妹都市（アメリカ合衆国エドモンズ市）への海外派遣（ホームステイ）を希望する市内在住の中高生などを募集します。

派遣期間 8月4日(金)～17日(木) (予定)

派遣先 アメリカ合衆国ワシントン州エドモンズ市

募集人員 中学生10人、高校生など5人（引率教諭2人が同行）

費用 約12万円（諸事情により変動あり）

選考会

とき 3月4日(土)

ところ 市役所2階談話室

※選考会の詳細は、後日通知します。

対象 平成29年4月1日現在で市内在住の中学3年生・高校生などで、次のすべてに該当する人

- ・ 学校長の推薦がある
- ・ 保護者の了承が得られる
- ・ 心身ともに健康で、海外生活ができる
- ・ 日常生活程度の英会話ができる
- ・ 7月20日(木)～8月1日(火) (予定) に姉妹都市からの学生使節団受入（ホストファミリー）ができる
- ・ 市が行う国際交流事業に協力できる
- ・ 性格や責任感など市を代表するにふさわしい
- ・ 保護者が市税などを完納している
- ・ 今までに市の中高校生等海外派遣事業でエドモンズ市に派遣されたことがない
- ・ 事前研修（5月中旬～7月上旬の期間に週1回、計10回程度を予定）に参加できる

申込み 2月1日(水)9時～28日(火)17時に申込書、学校長の推薦書、「エドモンズ市で交流したいこと」をテーマとする作文(400字詰め原稿用紙3枚)を地域協働課地域協働係

※申込書は地域協働課、市内中学校、文化会館、南部・東部市民プラザ、各公民館（西端を除く）、農業者コミュニティセンターにあります。